

## 講義題目 イノベーション/リーダーシップ入門

担当教員 北岡康夫 松行輝昌 (共創機構)

### 授業の目的と概要

グローバル化やデジタル化などにより激変する現代の世界において、イノベーションは新しい価値を生み出し、それを社会に浸透させる重要な活動です。この授業では、イノベーションに関する知識を学ぶだけでなく、イノベーションを引き起こすリーダーシップについて学びます。このため、イノベーションとリーダーシップにおいて重要な知識や能力を身につけるとともに、イノベーションを実践されてきた各界のリーダーをゲストにお招きし、みなさん自身がイノベーションを引き起こす人材となるための刺激とヒントを提供します。また、授業運営の一部を受講生自身が行うことにより実践的なリーダーシップを身に着けます。

### 学習目標

- 1) リーダーシップとは何か説明できる
- 2) イノベーションを引き起こすリーダーシップのポイントを説明できる
- 3) イノベーションにおけるビジネスモデル、経営戦略、法律、テクノロジーの役割について説明できる
- 4) 上記1) から3) をふまえて日常生活の中でイノベーションを引き起こすリーダーシップを実践できる

### 履修条件・受講条件

(受講理由書)

シラバスを熟読して、なぜこの授業を受講したいかを記載した受講理由書をメールで提出してください。提出内容はA4用紙一枚以内(Word ポイント11)とし、ファイルのヘッダーに提出日 氏名 学番 メールアドレスを表記すること。メールは<glp@osipp.osaka-u.ac.jp>宛、必ず表題に「2020 イノベーション/リーダーシップ入門(受講者名)」を表記すること。締切4月末日。

### 授業計画

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 イノベーションとリーダーシップ1
- 第3回 イノベーションとリーダーシップ2
- 第4回 ゲスト講義1
- 第5回 ゲスト講義2

- 第 6 回 ゲスト講義 3
- 第 7 回 中間振り返り
- 第 8 回 ゲスト講義 4
- 第 9 回 ゲスト講義 5
- 第 10 回 ゲスト講義 6
- 第 11 回 イノベーションとビジネスモデル
- 第 12 回 イノベーションと法律
- 第 13 回 イノベーションと経営戦略
- 第 14 回 イノベーションとテクノロジー
- 第 15 回 まとめ

#### 授業外における学習

(合宿について) \*希望者

日程： 2020年7月11日(土)～12日(日)

場所： 株式会社パソナグループ様研修施設 (兵庫県淡路島)

参加費・交通費： 無料

#### 教科書・教材

- ・GLP 共通テキスト (授業中に配布するリーダーシップに関するテキスト)
- ・適宜資料を用意する (CLE 掲載または配布)

#### 参考文献

以下の他は、講義中に指示します。

野村美明ブログ <http://nomurakn.blogspot.jp/> =リーダーシップに関する教材や参考資料を掲載しています。「リーダーシップ」で検索してみてください。

マーティ・リンスキー、ロナルド・A・ハイフェッツ/竹中平蔵訳『最前線のリーダーシップ』(ファーストプレス 2007年)(原著 Ronald A.Heifetz "Leadership on the Line"(Harvard Business School Press, 2002)=共通テキストが引用している本です。

『リーダー・パワー』ジョセフ・S・ナイ (日本経済新聞出版社 2008年)(原著 Joseph S. Nye, Jr., The Powers to Lead, Oxford, 2008)=共通テキストが引用している本です。

シャロン・ダロツ・パークス/中瀬英樹訳『リーダーシップは教えられる』(ランダムハウス講談社、2007年)(原著 Sharon Daloz Parks, Leadership Can Be Taught, Harvard Business School Press, 2005).

平田オリザ・蓮行『コミュニケーション力を引き出す』 (PHP 研究所、2009年)

堀公俊『ワークショップ入門』日経文庫 2008年。プログラムデザインやファシリテーションスキルが学べます。

## 成績評価

① 受講理由書, ②平常点 (役割分担+発言内容+振り返りシート+自己評価+相互評価), ③学期末レポートに④役割達成度 (業務報告、メールのやりとり、プレゼンテーションなど) を加味して、総合的に評価します。

・受講理由書と学期末レポート (総合振り返り) の2つを提出することによって、受講前後で自分自身にどのような変化が生じたのかを実感できます。

・無断欠席した者は評価の対象としません。無断で遅刻・早退した場合も同様とします。

## 特記事項

この授業はグローバルリーダーシップ・プログラム (GLP) の一部です。GLP で開講する科目を続けて受講することで、リーダーシップをよりよく理解し、身につけることができます。秋冬学期水曜 6 限の「リーダーシップを考える」は、この授業で学んだ考え方やスキルをより深く学ぶものです。また、秋冬学期木曜 4 限の「経営者と学ぶリーダーシップ」では、ビジネスにおけるリーダーシップを学びます。

## 受講生へのメッセージ

授業目的に共感し、対話型授業と協働作業に積極的に参加する学生を望みます。